



審判副委員長

戦評用紙



種別	バレーボール (聴覚)	会場	大野市エキサイト広場総合体育施設体育館
----	-------------	----	---------------------

平成 30 年 10 月 14 日	日曜日	第 2 日目
-------------------	-----	--------

B	コート	第 9 試合
---	-----	--------

1回戦(第 試合) 準決勝(第 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム					
大阪市	2	25	—	23	1 岐阜県
都道府県、指定都市名		20	—	25	
		25	—	8	
					都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 入場 賢則 副 審： 宮前 憲一

記録員： 神谷 和美 A・S： 齊藤 美鈴 A・S： 岡田 眞由美

【戦 評】

記載者： 廣瀬 智之

岐阜県と大阪市の決勝戦。セッターを中心としてバランスの取れた攻撃、守備を行う岐阜県と梅本（沙）選手を中心とした高い攻撃力を持つ大阪市の対戦となった。

第1セット、序盤から両チームともに譲らない接戦となった。中盤、岐阜県は升田選手の連続サーブポイント、田下選手のスパイクでリードを奪う。対する大阪市の、終盤栄選手のサーブから梅本（沙）選手を中心とした攻撃で逆転し、このセットを取った。

第2セットも終盤まで、一進一退の攻防が続く。終盤、岐阜県は升田選手のサーブからリードを奪うと、粘り強いレシーブと田下選手のスパイク等で、リードを守り切り、セットカウント1-1とした。

第3セット、大阪市の成丸選手を中心としたレシーブが安定し、序盤から大きくリードを奪う。岐阜県もセッターの升田選手を起点として今井選手のスパイク等で反撃するが、大阪市の勢いを止めきれず、大阪市がこのセットを取り、優勝を飾った。